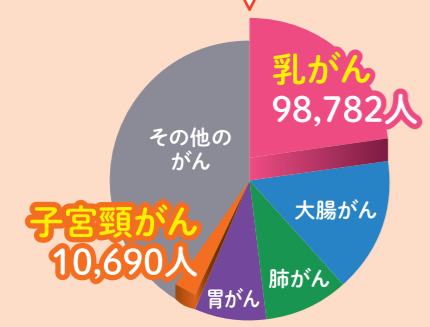


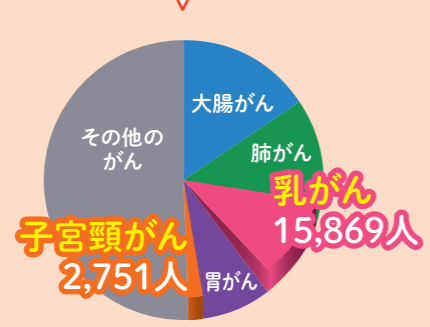
女性で最多罹患数の乳がん 若い世代の死亡率が高い子宮頸がん



部位別がん罹患数
(2021年女性)



部位別がん死亡数
(2024年女性)



出典:国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録)

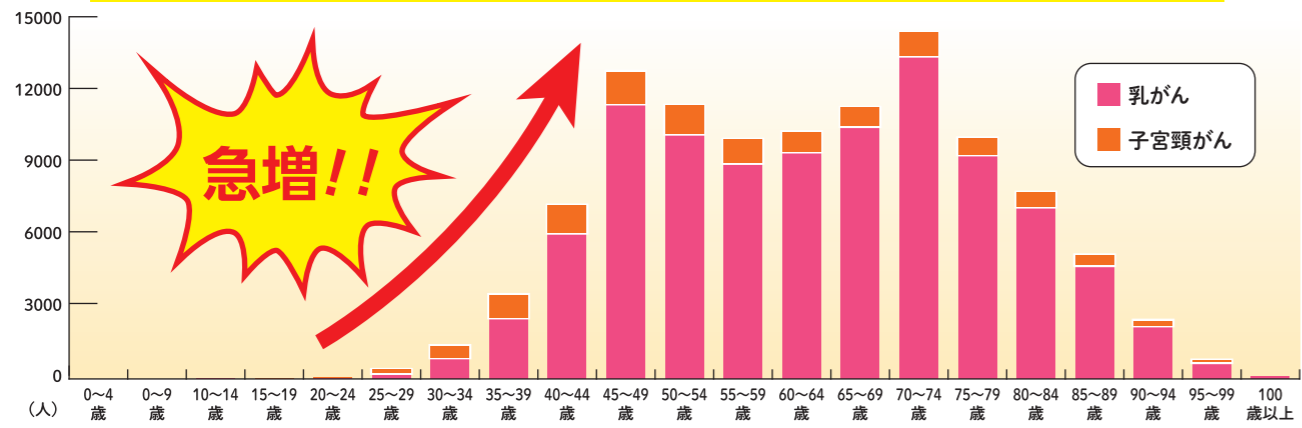
乳がん

年間の罹患数は9万人超、死亡者数も1万5千人を超えている女性にとっては特に注意すべきがんです。

子宮頸がん

年間で約1万人が診断されており、2700人以上の女性が死亡しています。先進国のなかでは日本が突出して診断数が多く、増加傾向にあります。

20代後半から発症が増加する「乳がん」「子宮がん」!!



乳がん・子宮頸がん 年齢別罹患数(2021年女性)

出典:国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録)

「乳がん」について

乳腺の組織にできるがんで、進行すると周りの組織を壊しながら増殖し、血液やリンパ液の流れなどに乗って転移することもあります。転移しやすい場所は乳房の近くのリンパ節、骨、肝臓、肺、脳などです。

症状

主な症状は、乳房のしこりです。自分で乳房を触ることで気付く場合もあります。ほかには、乳房にくぼみができる、乳頭や乳輪がただれる、左右の乳房の形が非対称になる、乳頭から分泌物が出るなどがあります。

要因

- 女性ホルモンのエストロゲンが深く関わっていることが知られています。
- エストロゲンに関連する要因
 - 閉経後の長期のホルモン補充療法
 - 初経年齢が低い
 - 閉経年齢が高い
 - 出産経験がない
 - 初産年齢が高い
 - 授乳経験がない
- その他の要因
 - 飲酒、閉経後の肥満、運動不足といった生活習慣
 - 糖尿病の既往
 - 自分の親または子で乳がんになった血縁者がいる

検査方法



マンモグラフィ(X線検査)

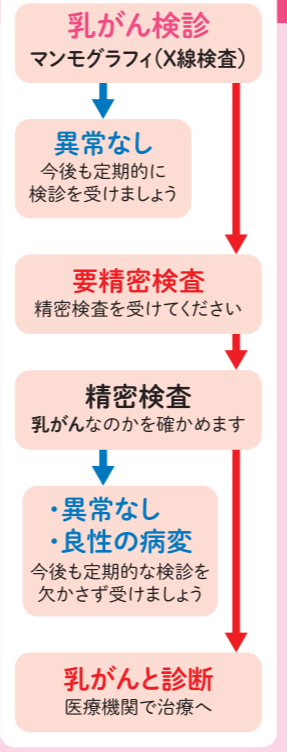
病変の位置や広がり調べるために行う乳房専用のX線検査です。2枚の板の間に乳房を挟んで圧迫し、薄く伸ばして撮影します。



エコー(超音波検査)

乳房内の病変の有無、しこりの性状や大きさ、わきの下など周囲のリンパ節への転移の有無を調べるために行われる検査です。超音波の反射の様子を画像で確認します。

検診の流れ



大切なご自身や、周りの大切な人の命を守るために。
子宮頸がんは、乳がんは、「早期発見・早期治療」が何よりも重要な病気です。



「子宮頸がん」について

子宮の入口にあたる子宮頸部にできるがんのことです。腔に近い側には、検査がしやすいため発見されやすくなりますが、より奥の筒状の部分にできると発見が難しいこともあります。早期発見すれば比較的治療しやすく予後の良いがんですが、進行すると治療が難しいことから、早期発見が極めて重要です。

症状

がんになる前の状態の時期には症状がなく、おりものや出血、痛みもありません。進行すると、月経中でないときや性交時の出血、においを伴う濃い茶色や膿(うみ)のようなおりもの、水っぽいおりものや粘液がたくさん出るなどの症状がみられることがあります。

要因

ヒトパピローマウイルス(HPV:Human Papillomavirus)の感染が関連しており、性交渉で感染することが知られています。多くの場合、感染しても免疫によって排除されますが、排除されず感染が続くと、一部に子宮頸がんの前がん病変や、子宮頸がんが発生すると考えられています。また、喫煙により子宮頸がん発生の危険性が高まります。

検査方法



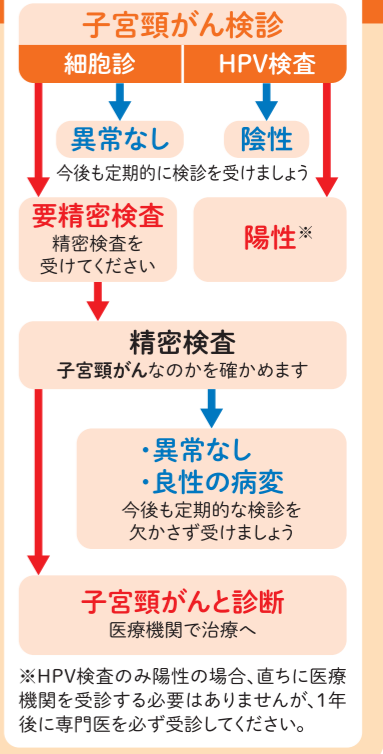
細胞診

子宮頸部を、医師が専用のブラシやヘラでこすって細胞を採り、異常な細胞がないか顕微鏡で調べる検査です。

HPV検査

HPVに感染しているか調べる検査です。細胞診と同様に、医師による採取を行います。

検診の流れ



がんの疑いあり(要精密検査)と判定された場合には必ず精密検査を受けてください。

「次回の検診まで待とう」「症状がないから大丈夫」などと自己判断せず、必ず精密検査を受けましょう。

乳がん精密検査

- エコー(超音波検査): 超音波を使用して、疑わしい部位を含め詳しく観察します。
- 細胞・組織診など: 疑わしい部位に針を刺して、細胞や組織を採取し、悪性かどうか診断します。

子宮頸がん精密検査

- コルポスコプ検査: コルポスコプ(腔拡大鏡)を使って子宮頸部を詳しく見ます。
- 組織診など: 疑われる部位の組織を採取して、がんやがんになる前の状態がないかを診断します。

出典:国立がん研究センターがん情報サービス「乳がん」「子宮頸がん」

令和8年度の変更点について

集団検診の自己負担金について

令和8年度より、集団がん検診の自己負担金が個別がん検診と同額になります。これにより一部の検診では自己負担金が上がります。自己負担金の詳細はP9をご覧ください。

肺がん・結核検診について

令和8年度より、痰の検査を廃止します。

